

# 日本整形外科学会 教育研修講演受講申込書

受講希望欄にチェックし、合計単位、金額、ご所属、氏名をご記入の上、受講料を添えて本申込書を単位受付へご提出ください。

受講証明書が不要の場合は、申込みも受講料も不要ですが、受講申込者の入場が優先されます。

所定事項をご記入のうえ、単位受付へご提出ください。

日時	会場	演題名	日本整形外科学会		受講希望欄			
			必須分野	専門医単位				
10月25日(金)	第2会場	教育研修講演3	坐骨神経痛・腰痛は足首テーピングでよくなる	萩原 祐介	8	SS		
			殿皮神経障害による腰痛	金 景成	8	SS		
	10:20～11:20	第1会場	教育研修講演1	脊柱変形の治療と腰痛	高相 晶士	3, 7	SS	
	12:00～13:00	第1会場	ランチョンセミナー1	成人脊柱変形の矯正術－Control CageとExpandable Cageによる腰仙部前弯形成	武井 寛	7	SS	
		第2会場	ランチョンセミナー2	腰椎後方椎体間固定術におけるわれわれの手技－ブーメラン型expandable cageの有用性－	林 寛之	7	SS	
		第3会場	ランチョンセミナー3	疼痛治療における全身性ジクロフェナクナトリウムテープの使い処と適正使用のポイント	中條 悟	7	-	
		第4会場	ランチョンセミナー4	慢性疼痛に対する薬物療法とその課題	鉄永 倫子	7	-	
		第5会場	ランチョンセミナー5	ケージ二刀流(staticとexpandable)が経験した腰椎側方進入椎体間固定術(LLIF)の実際	宮本 敬	7	SS	
	14:50～15:50	第1会場	特別講演2	FOR ALL～スポーツの力で未来を育てる～	永友 洋司	13	Re	
	16:00～17:00	第1会場	教育研修講演2	CLEAN BEAUTY ～進化するカラダづくり～	池澤 智	13	Re	
				CLEAN BEAUTY 一細胞から整える食事法一	地曳 直子	13	Re	
	17:10～18:10	第2会場	教育研修講演4	脊髄損傷を理解する / Understanding Spinal Cord Injury	小川 浩一	7,13	SS	
		第1会場	イブニングセミナー1	デバイスの進化と外科医の創意工夫により発展を続ける高齢骨粗鬆症患者の脊椎手術	船山 徹	4,7	SS	
		第2会場	イブニングセミナー2	なぜ骨粗鬆症患者は腰が痛くなるのか	宮城 正行	4,7	SS	
10月26日(土)	8:00～9:00	第2会場	モーニングセミナー	腰痛に対する脊髄刺激療法の有効性－真の適応を考える－	稲毛 一秀	7	SS	
				Balloon Kyphoplasty アップデート－災害医療救護での学びを含めて－	松山 大輔	7	SS	
	9:10～10:10	第1会場	教育研修講演5	腰部障害に対する理学療法の選択	成田 崇矢	7,13	Re	
		第3会場	教育研修講演11	骨粗鬆症と筋肉と腰痛－腰曲がり克服を目指した病態解析と介入研究－	星野 雅俊	4,7	SS	
	10:50～11:50	第2会場	教育研修講演9	骨粗鬆症では何が起きているのか？腰痛にまつわる基礎研究	成田 都	1,4	SS	
				前へ進む椎体骨折の治療戦略:椎体ドミノ骨折と慢性腰痛への挑戦	圓尾 圭史	1,4	SS	
	12:00～13:00	第1会場	ランチョンセミナー6	腰痛、神経障害性疼痛に対する臨床・疫学研究～健康寿命延伸のために～	今釜 史郎	7	SS	
		第2会場	ランチョンセミナー7	高齢者腰痛の診断と治療－ノイロトロピンの臨床効果Up to date－	江口 和	7	SS	
		第3会場	ランチョンセミナー8	コンドリアーゼの疑問答えます！－コンドリアーゼ椎間板内注入療法の適応と限界－	富永 冬樹	7	SS	
		第4会場	ランチョンセミナー9	非特異的腰痛を可視化する解剖とバイオメカニクスに基づいた仙腸関節障害の運動療法	西良 浩一	7,13	Re	
	13:10～14:10	第1会場	教育研修講演6	神経再生とリハビリテーション医学	緒方 徹	8, 13	Re	
		第2会場	教育研修講演10	慢性腰痛とADHD	笠原 諭	7	SS	
		第3会場	教育研修講演12	経仙骨的脊柱管形成術(Trans-sacral Spinal Canal Plasty: TSCP)－手技、適応、効果 そして今後の可能性－	横須賀 公章	7	SS	
	17:00～18:00	第1会場	教育研修講演8	運動器障害の一次予防としてのモーターコントロールエクササイズ	本橋 恵美	7,13	Re	
腰痛に対するモーターコントロールアプローチ				大久保 雄	7,13	Re		

日本整形外科学会(✓印を付けてください)  
 専門医       非専門医

受講料: \_\_\_\_\_ 単位×1,000円＝  
 ¥ \_\_\_\_\_ 円

【取得単位】 N:日整会専門医単位 S:スポーツ単位 R:リウマチ単位 SS:脊椎脊髄病単位 Re:運動器リハビリテーション単位  
 【必須分野】 1:整形外科基礎科学、2:外傷性疾患(スポーツ障害を含む)、3:小児整形外科疾患(先天異常、骨系統疾患を含む、ただし外傷を除く)、4:代謝性骨疾患(骨粗鬆症を含む)、5:骨・軟部腫瘍、6:リウマチ性疾患、感染症、7:脊椎・脊髄疾患、8:神経・筋疾患(末梢神経麻痺を含む)、9:肩甲帯・肩・肘関節疾患、10:手関節・手疾患(外傷を含む) 11:骨盤・股関節疾患、12:膝・足関節・足疾患、13:リハビリテーション(理学療法、義肢装具を含む)、14-1:医療安全、14-2:感染対策、14-3:医療倫理、14-4:保険医療講習会、臨床研究/臨床試験講習会、医療事故検討会、医療法制講習会、医療経済(保険医療を含む)に関する講習会、地域医療/医療福祉制度に関する講習会 14-5:医学全般にわたる講演会などで、14-1～14-4に当てはまらないもの (14-1～4は機構認定専門医共通講習、14-1,2,3は機構認定専門医必須講習)

所属 \_\_\_\_\_

氏名 \_\_\_\_\_